



# 飛騨の木材と匠の技を活かした 現代都市生活の支援製品の研究

2023年11月30日

東京都市大学都市生活学部 西山敏樹ユニヴァーサルデザイン研究室  
一般財団法人 飛騨高山大学連携センター  
(共同研究事業)

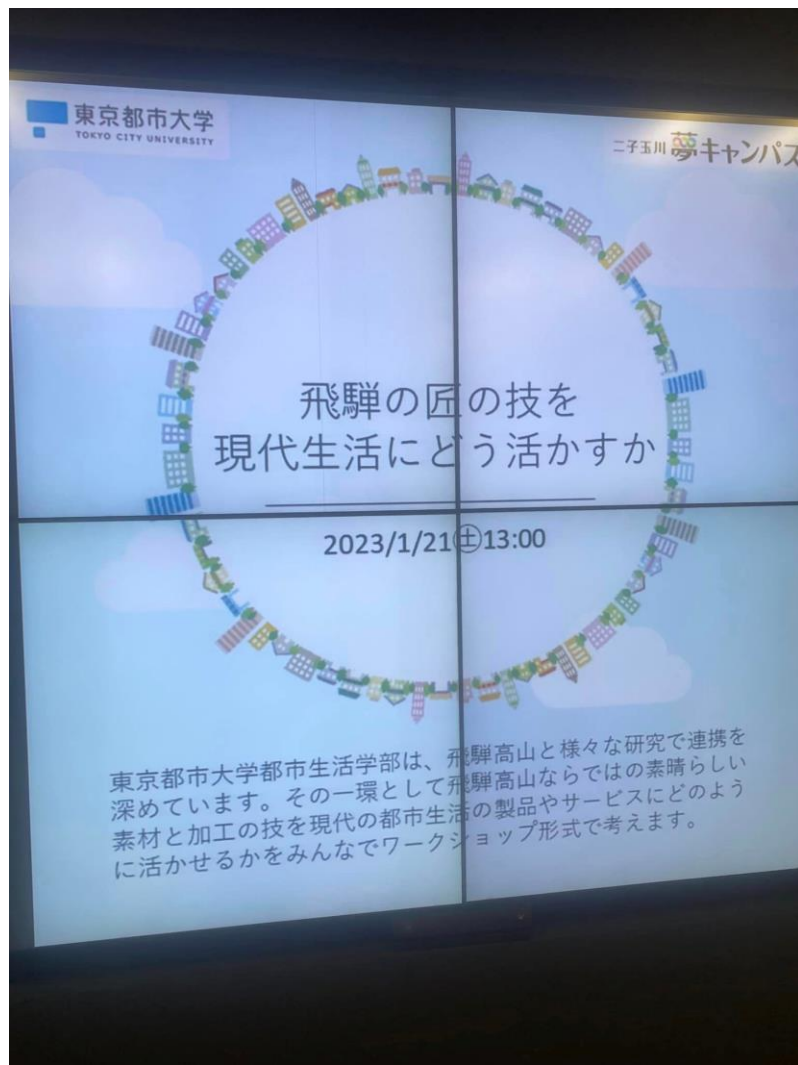
# 調査研究の概要

- 飛騨の匠の技や素材を今後の様々な都市生活シーンでどの様に有効活用するかを検討する。
- 実際に製品化を検討する物品のアイデアを調査から明らかにして、マーケットニーズを検討する。
- 都市生活者のニーズに合った飛騨の匠の技や素材を有効に活用した物品の実試作に成果をフィードバックする⇒試作も実施。

# ワークショップの開催(2023-01-21)

- 飛騨の匠の技や素材を知りながら，それを活かしたどのような物品が都市生活シーンに必要なかをディスカッションする。
- 実際につくるべき都市生活者のニーズに合う物品のアイデアをイラスト化して視覚化する。
- その視覚化した物品のアイデアを全グループのプレゼンテーションにより共有化する。

# ワークショップの開催(2023-01-21)



# インプット①

- 一般財団法人飛騨高山大学連携センターの六角裕治センター長が、飛騨の匠の技や素材に関する解説を最初の実施した。



# インプット②ー1

- 飛騨の匠の技と素材を活かした実際の物品を見て実物を知ろう



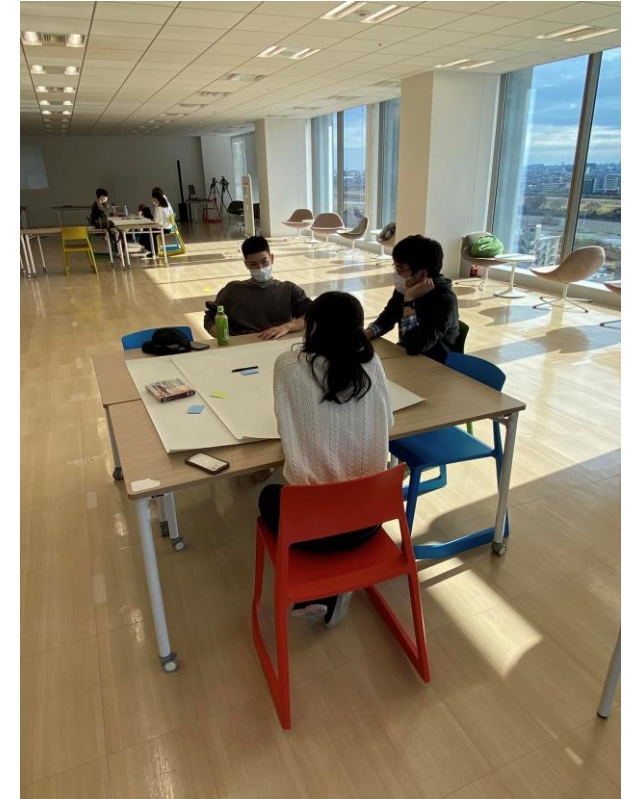
# インプット②ー2

- 飛騨の匠の技と素材を活かした実際の物品を見て実物を知



# グループディスカッション

- インプットをもとに3人1グループで計4グループが、飛騨の匠の技と素材を活かした必要物品を議論し、視覚化した。



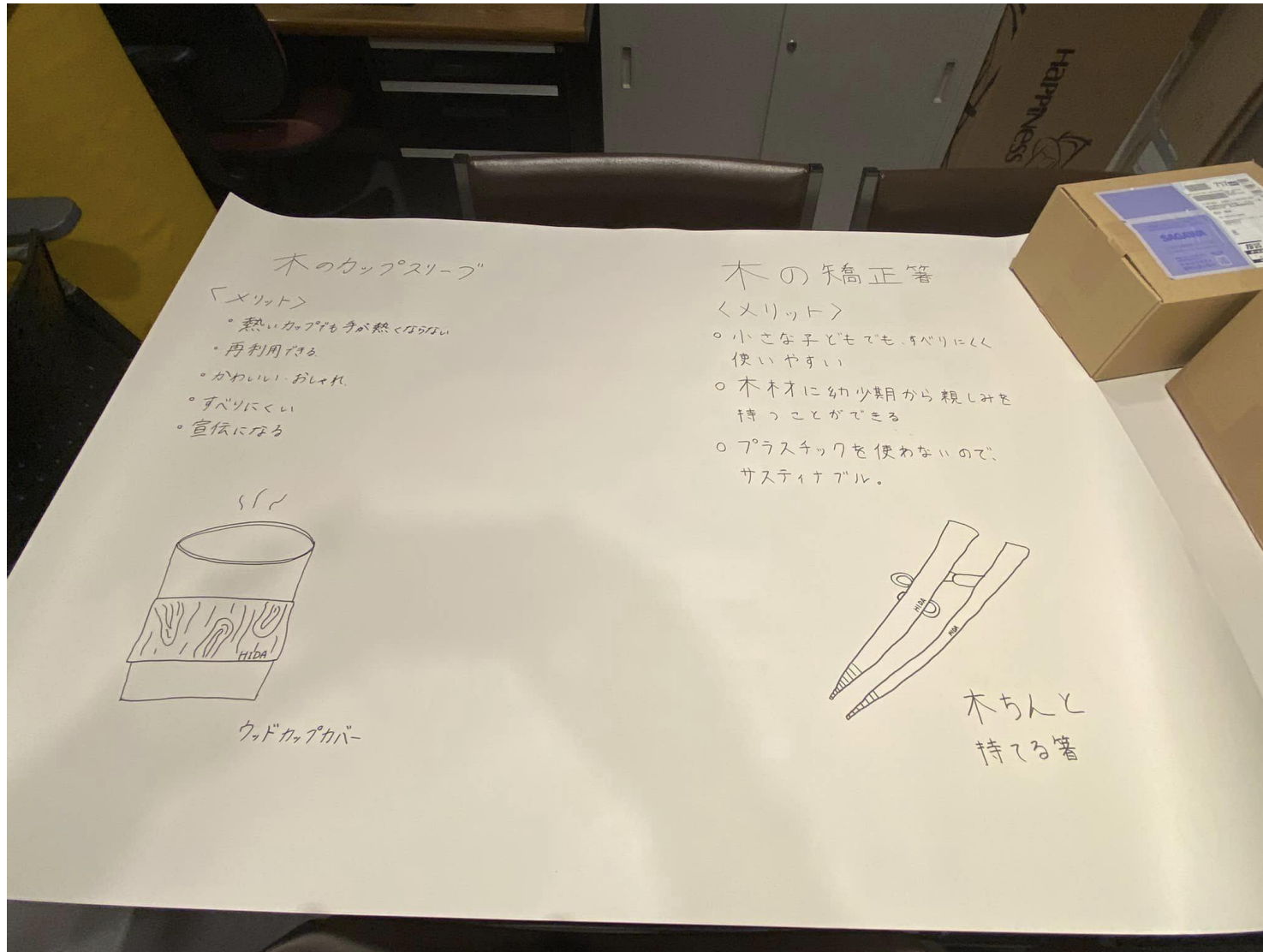


# プレゼンテーション

- 各グループで議論・視覚化した製品アイデアを発表し共有

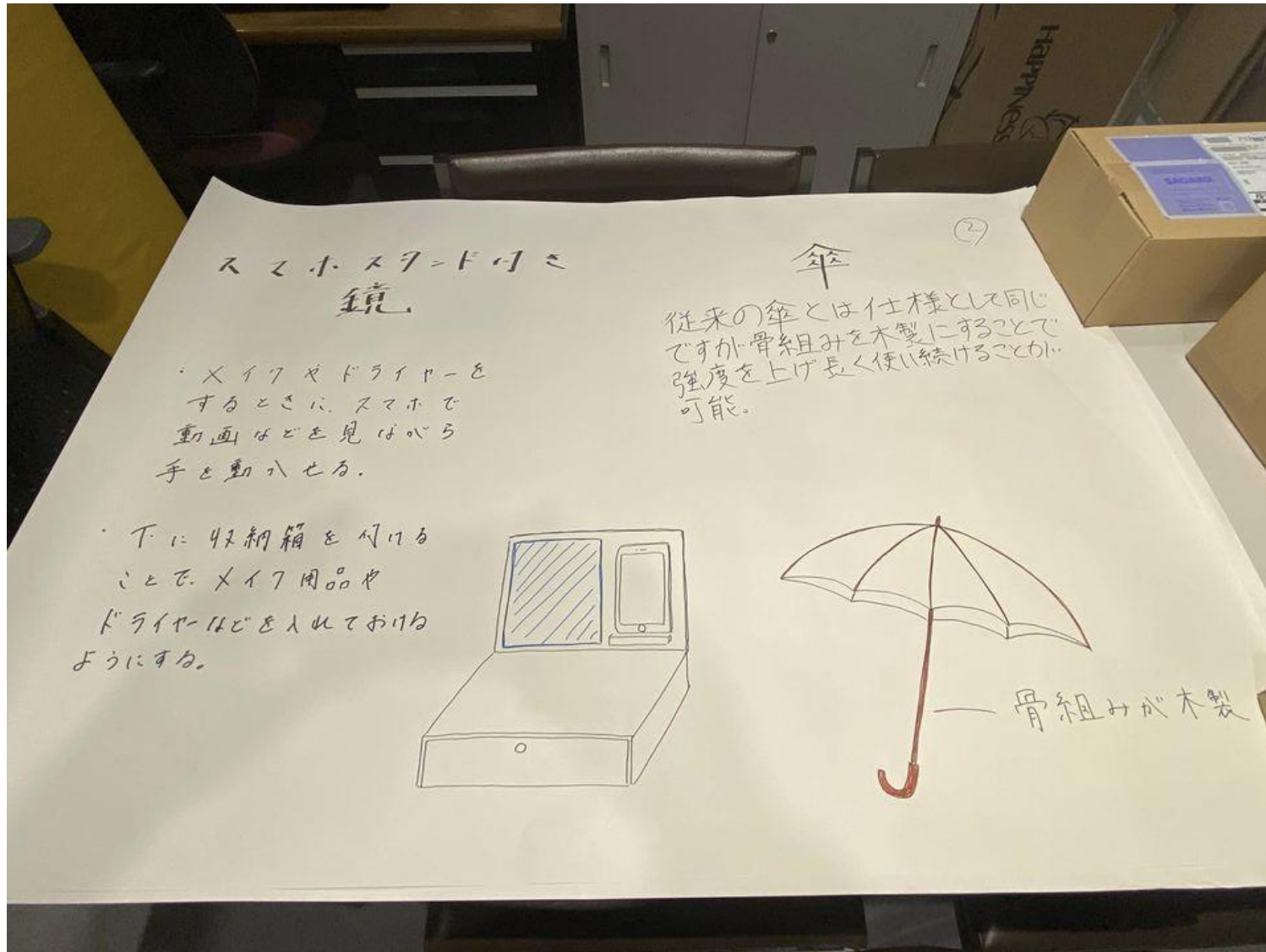


# 第1グループ検討結果



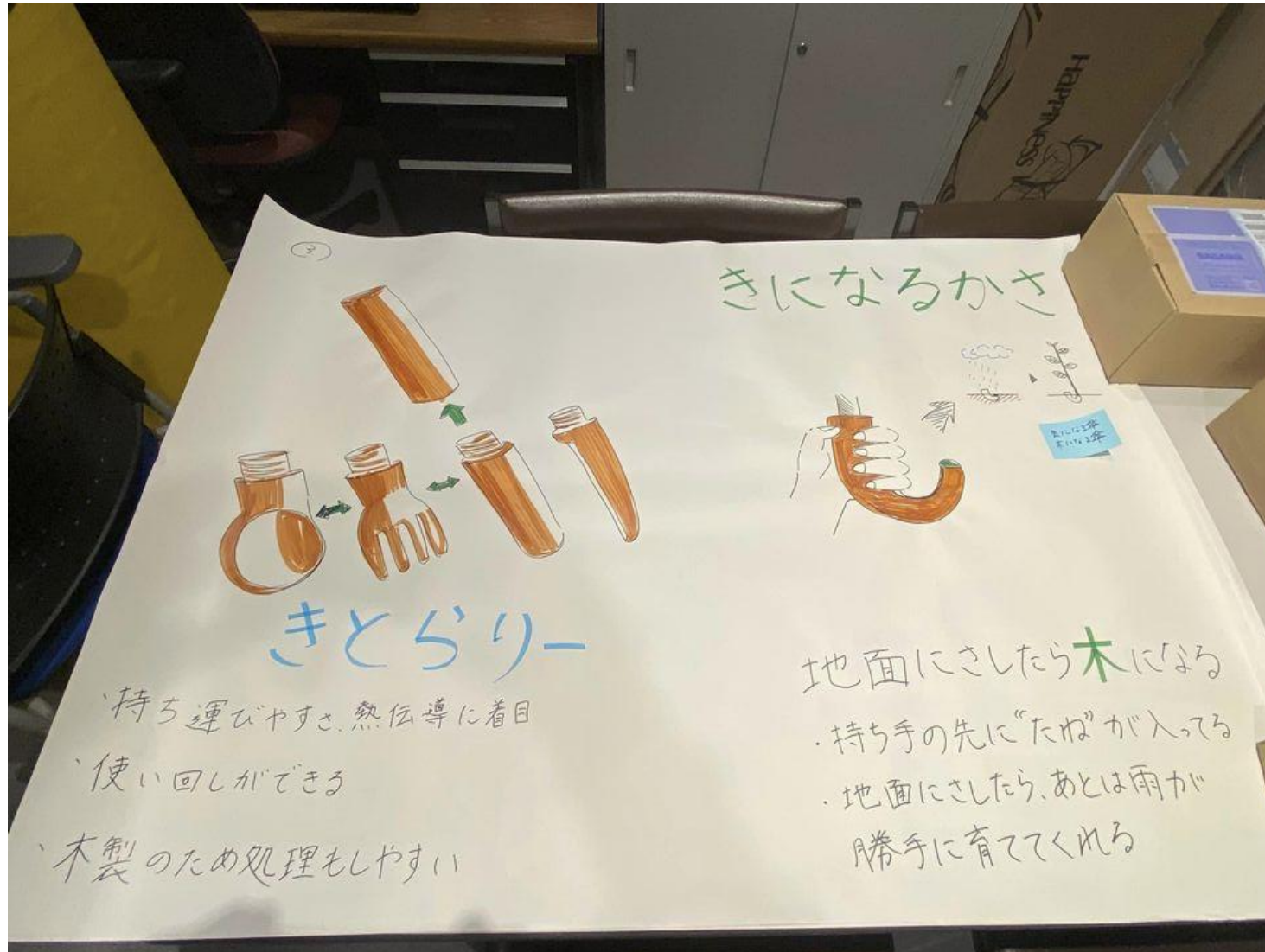
- 木のカップスリーブ
- 木ちんと持てる箸

# 第2グループ検討結果



- スマホスタンド付き鏡
- 骨組みが木で頑丈な傘

# 第3グループ検討結果



- きとらりー
- きになるかさ

# 第4グループ検討結果



- 木のハンガー
- 木を使った電球
- ガチャガチャ (木の製品の何かがある, 観光の支援にもなる)

# 出てきた製品のアイデアの総括

- 木のカップスリーブ⇒(飲)コーヒーやお茶をいただく時に有効.
- 木ちんと持てる箸⇒(食)子供の矯正も視野に入れた食育に有効.
- きとらりー⇒(食)木で仕立てるカトラリー. 食事全般にも有効.
- 骨組みが木で頑丈な傘⇒(外)必ず使う傘を頑丈にする上で有効.
- きになるかさ⇒(外)必ず使う傘を最終的には自然に戻せて有効.
- スマホスタンド付き鏡⇒(おしゃれ)日常のメイクアップに有効.
- 木のハンガー⇒(おしゃれ)洋服整理と共にインテリアにも有効.

# 参考：がちやがちやの例(箱根寄木細工)



寄木細工の小物がもらえる。

# ワークショップの小括

1. 製品のニーズとしては、「飲食系」、「傘」、「おしゃれ系（インテリア系）」、「観光支援系」にまとめられた。
2. 今後は、関係者間で議論をふかめ、どの製品が市場性や発展性、採算性等の社会条件に適合するかを見極める。
3. 実際に試作研究を行い、ユーザー評価を経て都市生活シーンでの有効性を実証していく。



# ワークショップの結果の妥当性調査

1. 2023年2月15日のギフトショーの飛騨地域出展事業者の調査
2. 2023年2月28日の国際家具見本市の飛騨地域出展事業者調査

上記の会場は、いずれも東京ビッグサイト(有明)で開催。

→以上より既存事業者が展開する領域、展開せぬ領域を見ていく。

# ギフトショー調査



# 国際家具見本市調査



# 飛騨地域でも進められている領域

- ・文房具

テープカッター，ペン立て，クリップホルダー，ホチキス，ペーパーウェイト，印鑑ケース等.

- ・飲食支援

皿，カップ，箸，コーヒードリップスタンド等.

- ・インテリア

時計，花さし，フォトフレーム，オーナメント，ミラー，コートハンガー等.

# WSで出た製品アイデアの評価(視察時点)

- 木のカップスリーブ⇒(飲)コーヒーやお茶をいただく時に有効.
- 木ちんと持てる箸⇒(食)子供の矯正も視野に入れた食育に有効.
- きとらりー⇒(食)木で仕立てるカトラリー. 食事全般にも有効.
- 骨組みが木で頑丈な傘⇒(外)必ず使う傘を頑丈にする上で有効.
- きになるかさ⇒(外)必ず使う傘を最終的には自然に戻せて有効.
- スマホスタンド付き鏡⇒(おしゃれ)日常のメイクアップに有効.
- 木のハンガー⇒(おしゃれ)洋服整理と共にインテリアにも有効.

# 専門家ヒヤリングの実施

さらに、2023年3月1日に、一般財団法人飛騨地域地場産業振興センターの専務理事：伏見七夫氏にヒヤリング調査を実施した。

ここでは、視察の時点までに絞り込んだ今後都市生活支援の観点から新規開発の余地がある製品のさらなる絞り込みを目指した。

→以上より既存事業者が展開する領域、展開せぬ領域を精査する。

# 専門家ヒヤリングの実施



# 専門家ヒヤリングの実施





# 開発に向けて可能性がある製品(1)

## •木のカップスリーブ

コーヒーやお茶をいただく時に有効.

⇒飲食分野故の汎用性がある. マイカップを持ちカフェに向かう都市生活者の需要を期待出来る.

スターバックスのようなカフェとコラボして飛騨地域限定色を出し、馴染んだ時に全国展開するといふ流れがありうる. おしゃれなら話題性も高くなる. 曲木技術を活用し、厚み等もニーズベースでつくり上げると良い. 今の都市生活にも合う.

## 開発に向けて可能性がある製品(2)

- スマホスタンド付き鏡

### 日常のメイクアップに有効

⇒スマートフォン他で動画を見ながらメイクする女性が増えている状況で、ニーズに合う。スマホ自体は今後も利用が予想出来、音楽を聴きながらのメイク等にも合う。女性は、ほとんどがメイクアップするし、今後は男性の需要も期待出来る。利用しているシーンを想定出来る新しい分野だ。

## 専門家ヒヤリングまでの総括

- 飛騨の匠の技と素材を現代都市生活に活かす上で木のカップスリーブ、スマホスタンド付きの鏡の2品は各種調査から需要が高いものと判断できる。
- 伏見氏によれば、ライフスタイルの変化を詳細に見て、都市生活者のニーズと思いをどう形にするかが大切とのこと。上記の2品について、ニーズに基づき製品の詳細検討を進めることが望まれる。

## 2023年度は試作と評価へ

- 都市生活者のライフスタイルを精査し木のカップスリーブ、スマホスタンド付き鏡の概念を構築.
- 日進木工さんのご協力を得て試作のステージへ  
(会場で実際に試作品をご覧頂ければ幸いです)
- ユーザー評価作業も実施.

# 試作と検討の状況



# 試作と検討の状況



## 今後の流れ

- 年度内は、評価を進める。量産前モデルの確立へ。
- 試作品を基に、飛騨の匠の技を活かした現代都市生活支援物品として普及と量産に向けた活動展開。
- 上記のブランディング関係の作業。

# 謝辞

- ・ 日進木工株式会社
- ・ 一般財団法人飛騨地域地場産業振興センター  
専務理事：伏見七夫様
- ・ ワークショップご参加の皆様

以上の方々のご協力に感謝申し上げます。